参考　　　　　　　　「逃げ地図（避難地形時間図）」学習指導案

１ 学年・場所 ４年〇組 教室（４５分×２コマ）

２ 単元名 逃げ地図（避難地形時間図）

３ 関連する教科と内容

　 小３算数「時刻と時間」「長いものの長さのはかりかた」

　 小４社会「くらしを守る」「住みよいくらしをつくる」

　 小５社会「わたしたちの生活と環境」、理科「流れる水のはたらき」「川と災害」

　 小６理科「土地のつくりと変化」「地しんや火山と災害」、算数「速さの表し方」

　 中２保健「自然災害による傷害の防止」

４ 単元設定の理由

（１）目標

津波から避難する最短時間を知ることができる。状況に応じて適切な避難ルートを選択する力がつき、通学途中など、自分ひとりでも命を守る行動がとれるようになる。

（２）設定の理由

３年生で時刻や時間、長いものの長さの図り方を理解し、４年生では自分たちの住む地域のことを知り、地図の見方について学ぶ段階にきています。本題材は、地図に色分けをすることで最短で避難することができるルートがわかることで、生徒たちが自らの身を守る方法がイメージし易くなる。

５ 必要物品

学校で用意するもの

・色鉛筆(緑、黄緑、黄色、オレンジ、赤、紫、茶色、黒)　各自持参

・紐(地図の縮尺に合わせて分速43m×3分の長さ)人数分　・大きめポストイット

・黒マジック（細）人数分、消しゴム

講師が用意するもの

・学校周辺の地図　・地図の縮尺に合わせて紐の長さを事前に学校へ伝える

・各班にファシリテーターがつく

６ 展開

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（観点・場面・方法） |
| 導入（15分） | ・東日本大震災などの映像を見る・津波の速さについての映像・自分の町もこの映像と同じようになるのかを考える | ・津波の速さ、想定される津波到達時間について説明する・作業手順の説明・条件設定の説明・色別に塗り進めるため、時間を区切り一斉に同じ作業を取り組めるよう説明 | ・津波の速さ、想定される到達時間などを知る・津波からいち早く逃げる方法について知る |
| 展開（35分）発表準備(10分)発表（20分）1班発表3分程度全体まとめ(5分） | 設定した避難場所から緑→黄緑→黄色→オレンジ→赤→紫→茶色→黒と塗り進める・気が付いたことをポストイットに書き出し貼っていく・避難する方向の矢印を書く ・(設定の違う)他の班の地図と自分の班の地図を比べ違いをまとめる発表の題材設定例示)・設定した避難場所までの避難経路の危険個所・他の班との違い　　　　　　　　など・班ごとの発表　題材設定について発表をする　ポストイットに書き出した、気が付いたことを発表する | 設定した避難場所から緑→黄緑→…と塗り進めますが、細かい路地なども色塗りを行いますので、全体が同じ時間配分で塗る作業を行います。(一つの色を5～7分)・色を塗りながら子供たちの話したこと、気づいたことをポストイットに書かせる・矢印の起点を同じ色で挟まれた地点や自宅などとし、どちらの方向へ避難すべきかを示す発表順は設定の違う班を交互に発表する・発表を踏まえて違いが出た内容で、気が付いたことを伝える・津波からいち早く逃げるために、通学途中など自分がどの位置にいて、その場所からどの方向に避難をすれば良いのかを考えさせる |  |